

令和 7 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	畜産県かごしまバイオマスエネルギー導入促進事業
補助事業者名	鹿児島県
補助事業の概要	<p>令和 5 年 3 月に策定した「再生可能エネルギー導入ビジョン 2023」において、本県の多様で豊かな資源を最大限に活用し、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入を促進することとしている。</p> <p>メタン発酵ガス化発電の導入に向けて、市町村等が発電事業や熱利用を実施するにあたり、消化液の処理について、通年で液肥として使用できる営農体系や肥料として販売できる安定した肥料成分の品質確保、安定したメタン発酵ガス発生のための原料確保等の地域の状況を踏まえた運営体制の構築が必要となる。</p> <p>このため、畜産バイオマスエネルギー利用に係る利害関係者や地域の情報を調査・整理し、事業者や市町村職員、J A、畜産農家等へ提供することで、畜産バイオマスエネルギー利用の拡大を図った。</p> <p>また、今までの実証事業計画を基に、関係者間において、事業実施主体の創出など畜産バイオマスプラントの具体的な事業化に向けた検討を行った。</p>
総事業費	16,169,670 円
補助金充当額	16,169,670 円
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 (提案書から転記)	<p>本県が策定した「再生可能エネルギー導入ビジョン 2023」において、メタン発酵ガス化発電等の畜産バイオマス発電の導入促進を図ることとしている。事業化に向けて取り組む箇所数を増やす。</p> <p>他地域の事例や情報の提供をしながら引き続き事業化に向けて推進することとする。</p> <p>事業化に向けて取り組む箇所数：畜産バイオマス発電 0箇所 → 1箇所</p> <p>1箇所の畜産バイオマス発電の事業化への取組みを実現することで、モデル事業を生み出し、県内他地域への導入促進につなげる。</p>
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	<p>当該事業の実施を通じて、畜産バイオマスを資源とした発電や熱利用による持続的な畜産業・農業・地域産業発展が期待される他、家畜糞尿処理の負担軽減や臭気の軽減、循環型社会の実現等に向けて前進することができた。</p> <p>事業化に向けて取り組む箇所の創出には至らなかったが、関係</p>

	者へのアンケート調査等の実施により、情報の調査・整理が行え、また、関係者への実証事業実施に向けた支援の継続やマッチング支援、普及啓発等により、引き続き事業化に向けた取組みを推進することができた。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	(1) 原料供給及び消化液活用に関する調査・整理 (2) 実証事業実施に向けた支援の継続 (3) 企業等のマッチング支援 (4) 普及啓発
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方(間接補助先)	国際航業株式会社
	契約金額(間接補助金額)	16,071,000円
来年度以降の事業見通し	畜産バイオマスエネルギーに関心のある関係者のマッチング支援や実証事業実施に向けた支援の継続を行う。	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。